

四谷の

千枚田だより



第 193 号



棚田(千枚田)サミット

第二十五回全国棚田(千枚田)サミットが十月十三日(日)から十四日(月・祝)までの二日間、山口県長門市ルネッサながとを会場に開催。

四谷の千枚田からは高橋孝行、田中幸夫、原田英史、松下 誠、小川舜二の五名が参加予定。

過日、棚田研究の第一人者である中島峰広先生(早稲田大学名誉教授)からの電話で分科会には「棚田のまもりびとミーティング」に参加するようにと嬉しいお誘いがあった。現地見学会は日本海に面した斜面上に段々と水田が作られている東後畑棚田をコースに行われる

棚田の新時代へ
～棚田地域振興法成立～

第25回

全国棚田(千枚田)サミット

テーマ 棚田の魅力を再発見!
～美しいふるさとを未来へ～

開催地 山口県長門市

開催日 令和元年
10月13日(日) 会場/ルネッサながと ホテル西京
10月14日(月・祝) 会場/長門市内各地 ルネッサながと

主催:全国棚田(千枚田)連絡協議会
主管:第25回全国棚田(千枚田)サミット長門市実行委員会

写真(一社)長門市観光コンベンション協会主催フォトコンテスト受賞作品

7759-4192 山口県長門市東深川1339番地2 (長門市役所農林課内)
第25回全国棚田(千枚田)サミット 長門市実行委員会 事務局
TEL:0837-27-0400 FAX:0837-22-8458 E-mail:mosel@city.nagato.lg.jp

問い合わせ先

コラム

棚田の定義

棚田(たなだ)とは、傾斜地にある稲作地のこと。傾斜がきつく耕作単位が狭い状態において、水平に保たれた田が規則的に集積し、それらが一望の下にある場合は千枚田(せんまいだ)とも呼ばれる。英語では、rice terraces と表現される。

今年の稲作を振り返って

ゴールデンウィークには荒代を掻き、随時、田植えが始まる。その矢先、空前の空梅雨で東三河の水瓶「鳳来湖」も貯水量ゼロ%を記録。流石の鞍掛山も天から雨を貰わにやあ、田んぼへ供給できんと…。棚田の百姓もこのままでは田植えも儘ならず、鞍掛山の馬桶石に願掛けを囁いたほど水不足が逼迫した。

何とか田植えは終わったものの稲の生長過程で一番大切な「太腹、出穂、交配」の時期には毎日がウンザリするほどの雨続き。長雨による日照不足で実入りが心配された。梅雨明けと同時に誰が悪いとは言わないが記録破りの猛暑にニュースが沸いた。さて、天気も落ち着いたし、ぼち

ぼち稲刈りをしようと思った矢先、台風の影響で太平洋高気圧が停滞、何処も彼処も猛暑で四十℃を超す高気温「自分の体は自分で守れ」と御達し。バインダーで稲刈りに(舜)はもともとナマクラだが五分と続かず、日陰で水分補給。誠ちゃんなんか十七歳も若くても稲株を三、四株も刈ると畦に腰を下ろしアップアップと金魚の鼻上げ状態、昨夜からろくに「まんま」も喰えんし、声も出ん…と嘆いていた。天候不順が影響したのか、稲の出穂にも出ムラがあり千枚田一色の黄金色の壮観さには残念ながら欠けた。

一昨年は刈取り時期の泥濘、昨年は二つの台風で稲架が倒壊、今年は空梅雨と猛暑に泣かされた。自然との闘いに挑む棚田の百姓はチャレンジャーであり、アーティストだ! 高低差二百以上の急傾斜地、日本三大石積棚田の守り人は大変だ。

France



稲刈り

・九月五日、豊橋調理製菓専門学校一年生(二十五名)は丹精込めて育てた稲の刈り取り作業に勤しんだ。

毎年実施している稲の生育調査では二本植え、三本植え、四本植えを比較した結果、ミネアサヒは二本植えが最も良好で、四本植えは穂にならない無効分けつが多く、穂首も短い結果が出た。スズハラ糯は分けつが少ない品種であるため四本植えが良いことが解った。

生徒たちは(舜)の説明は素直に聞いていたはずだが、イザ実践となると中々ままならない。そこで論しても「僕たち：反抗期」だそう。此方も反抗期になりそうなのをグツと抑えた。笑



・九月十一日、鳳来寺小学校五年生(十一名)は三枚の田んぼの稲刈りを行った。九月に入れば爽やかな風が吹く秋晴れの千枚田。と思いきや、

とんでもない猛暑に見舞われた稲刈りで子供たちの熱中症を心配、指導する林先生も(舜)も声が出なくなる始末。でも、子ども達は強かった。そうそう、一年生(十二名)は千枚田自然散策の予定であったが、あまりの暑さに早々とお帰りを願った。



・九月十六日、ヤマサちくわ社員の高橋義昌さんが世話をする田んぼの稲刈りが原田英史(理事・ふるさと指導員)の指導で行われた。

当日は、佐藤元英社長(東三河広域観光協議会会長)の懇意にしている

関東を始めとした各地からお招きした二十余名余名に素晴らしい景観を保持している地元民の生の声を聞かせたいし、聞きたい。と依頼があり、これまでの経過、行政支援の姿勢、百姓の苦労等々を説かせて頂き、訪問者に感銘を与えることができた。棚田カードを差し上げた訪問者からは、私たちは唯、見せて頂くだけで何のお役も立てない。大変なご苦労をお掛けするが、守って戴きたい財産だ。と評された。

敬老会

九月十五日、旧連谷小体育館で連谷公民館主催の敬老会を催した。当日は二十六名が参加、元気な姿を再確認した。

会場では会館役員が企てたビンゴゲーム、優雅な琴の演奏、歌謡ショーなどで会場を盛り上げた。お祝いの一環として毎年記念写真を贈り、その代わりに人生の先輩たちから知恵を戴いている。今年は八十歳以上五十四名中二十六名の元気な姿がみられた。

冒頭、千枚田が何かとお世話になっていることと、今後とも協力を願いたい、シャッターを切った。



愛知県国際観光コンベンションは海外向け「愛知の魅力発信」として動画「Dynamic AICHI」を作成、この十六日に公開しました。内容は湯谷温泉、阿寺の七滝、四谷の千枚田、足助屋敷などです。
なお、「愛知の引力」日本語・中国語・英語版でも四谷の千枚田が紹介されております。

行 令和元年十月一日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二